

第 18 回（2019 年度）教育システム開発賞 選考経過および結果

日本歯科医学教育学会教育システム開発賞選考委員会

日本歯科医学教育学会（以下「本会」という。）第 18 回（2019 年度）教育システム開発賞選考委員会を、2019 年 7 月 19 日に第 38 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会会場（パピヨン 24）において開催した。

日本歯科医学教育学会教育システム開発賞（以下「教育システム開発賞」という）への応募数は 2 件（口演発表）であった。本会表彰制度規程（以下「規程」という。）及び本会表彰制度規程細則（以下「細則」という。）に鑑み、理事長からあらかじめ指名された 5 名の選考委員会委員は、申請者から提出された応募書類および当日の発表内容について審査を行い、下記の基準により受賞候補者の選考を行ったので報告する。

教育システム開発賞

本会学術大会における発表内容に関し、その新規性（規程第 3 条第 1 項）、独創性（規程第 3 条第 1 項、細則第 2 条第 1 項第 2 号）、システム性（規程第 3 条第 1 項）、有用性（細則第 2 条第 1 項第 1 号）、応用性（細則第 2 条第 1 項第 2 号）並びに総合的評価の各項目について評価を行った。

上記の基準に従い、集計した採点結果を表彰規定第 8 条（1）に則り、理事長、副理事長、大会長に付託した。選考委員会からの採点結果の付託を受け、表彰規定第 8 条（1）に則り、理事長、副理事長、大会長の議により下記の者を第 18 回（2019 年度）教育システム開発賞受賞者として決定した。

教育システム開発賞

受賞代表者：

楊秀慶（日本歯科大学附属病院）

共同受賞者（申請書記載順）：

関本恒夫、苅部洋行、内川喜盛、秋山仁志

演題：「可動式側方脱臼歯整復模型の教育効果」（口演発表）

2019 年度 日本歯科医学教育学会学術大会発表（2019 年 7 月 19 日）

なお、2019 年 7 月 19 日にグラナダスイート福岡にて表彰式が執り行われた。